

# 青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す方策について」 (中間まとめ)

## 目次

はじめに	1
<b>第1章 今なぜ、青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促す必要があるのか</b>	
1. 意欲の持てない青少年の増加への懸念	3
【意欲を持って自立への素養や力量を培う青少年期】	
【意欲を持てない青少年の増加への懸念】	
【意欲を持てる青少年と持てない青少年の二分化への懸念】	
【すべての青少年が意欲的な生活を送るために】	
2. 青少年の自立への意欲に対する社会的期待と大人の責任	8
【社会から期待されている青少年の「自立への意欲」】	
【青少年の自立への意欲に対する大人の責任】	
3. 青少年の成長過程全体にわたって心と体の相伴った成長を促す意義	9
【身体、心情と知性の相互作用】	
【成長過程全体にわたって調和のとれた成長】	
【様々な体験活動の意義のとらえ直し】	
<b>第2章 青少年の意欲をめぐる現状と課題</b>	
1. 青少年の意欲と行動の様相	11
【青少年の意欲の様相の理念的な分類】	
【状態的確な把握と各状態に対応した手当て】	
【自己を客観視できる力の育成】	
(1) 基礎的な体力の低下や不足	12
【正しい生活習慣、運動習慣の下での充足感のある生活】	
(2) 青少年の価値観等と社会的期待の相違	13
【納得のいく豊かな人生のための努力と向上心】	
【実社会との関わりを通じた価値観や判断基準の体得】	
(3) 行動の段階でのつまずき	14
【目的達成に必要な手段・方法の体験を通じた学習】	
【身近なモデルの存在】	
2. データが示す青少年の生活実態等の現状と課題	16
(1) 生活の夜型化、朝食欠食などの基本的な生活習慣の乱れ	16

(2)希薄な対人関係	19
子どもへの保護者の関与の度合いの低さ	19
地域の大人の青少年への関わりの少なさ	23
仲間と交流する体験の少なさ	26
(3)直接体験の少なさ	30
スポーツ等の体を動かす体験の少なさ	30
自然体験の少なさ	33
(4)情報メディアの急速な普及に伴う問題	36

### 第3章 青少年の意欲を高め、心と体の相伴った成長を促すために

#### ～重視すべき視点と方策～

1. 家庭で青少年の自立への意欲の基盤を培おう ..... 40
  - 視点** 家庭の役割を強く自覚し、家族全員で子どもに積極的に関わる  
学校や企業、地域社会が家庭での自立への基盤づくりを支援する
  - 方策** 求められる基本的な生活習慣や基礎的な体力の重要性について、実践的な調査研究を通じて啓発する  
家庭での基盤づくりを進める国民運動を展開し、地域での取組を支援する
2. すべての青少年の生活に体験活動を根づかせ、体験を通じた試行錯誤や切磋琢磨を見守り支えよう ..... 44
  - 視点** 多様な体験活動の機会を提供し、体験活動をすべての青少年の生活に根づかせる  
体験を通じた青少年の試行錯誤や切磋琢磨を大人が見守り支援する
  - 方策** 青少年の生活圏内に多様な体験を提供する場や機会をつくる  
青少年教育施設等を中核として、教育効果の高い体験活動を計画的に提供する
3. 青少年が社会との関係の中で自己実現を図れるよう、地域の大人が導こう ..... 49
  - 視点** 社会との関係への興味・関心を育て、社会との関係の中での自己実現を導く  
「第三の大人」として地域の大人が青少年に関わっていくという価値観を醸成する
  - 方策** 社会との関係の中で自己実現を図った大人の生き方から学ぶ機会を提供する  
青少年の努力や社会貢献を積極的に評価する  
地域の大人が地域の青少年の成長に継続して関わることのできる場や機会を広げ、その連携を進める

4. 青少年一人ひとりに寄り添い、その成長を支援しよう……………53

- 視点** ガイダンスの発想に立ち、青少年一人ひとりの成長を支援する
- 方策** 国民一人ひとりがガイダンスの発想に立って青少年を支援できるよう、意識の涵養と指導力育成に努める
- 学校における教育相談体制の整備や関係機関が連携したサポート体制の充実などにより、児童生徒一人ひとりの成長をきめ細やかに支援する

5. 情報メディアの急速な普及に伴う課題へ大人の責任として対応しよう……………56

- 視点** 情報メディアを通じて社会規範等を学び社会参画を図れるようにする
- 青少年への悪影響を予防する観点から情報メディア環境を見直す
- 方策** 青少年の健全成長に資するコンテンツづくりを促進する
- コンテンツの作成・発信者と受信者がともによりよい情報メディア環境づくりに貢献できる仕組みを整える
- 情報メディアを悪用した犯罪等に巻き込まれないよう青少年一人ひとりに届くメッセージを送る

## 参考資料

## データ目次

図ア	数学で学ぶ内容に興味がある生徒の割合……………	4
図イ	学校外で宿題をする時間……………	4
図ウ	価値観(生活意識)……………	4
図エ	生活の目標……………	4
図オ	早く大人になりたいか……………	5
図カ	大人になりたくない理由(中学生)……………	5
図キ	大人になりたくない理由(高校生)……………	5
図1	22時以降に就寝する幼児の割合……………	17
図2	24時以降に就寝する中学2年生の割合……………	17
図3	朝食を欠食することがある割合……………	17
図4-1	「朝食欠食」と「体のだるさ」の関係(小学生)……………	18
図4-2	「朝食欠食」と「体のだるさ」の関係(中学生)……………	18
図5	お父さんやお母さんから言われること(国際比較)……………	20
図6	母親の子育て意識……………	21
図7	子どもの事に関して家族が協力してくれない場合の相談相手……………	21
図8	どういう親でありたいか……………	22

図 9	学校給食に望むこと (保護者) ……………	22
図 10	学校で教えてほしいこと ……………	22
図 11	保護者自身の子ども時代と比較した「地域の教育力」 ……………	24
図 12	家の近くにいる大人との関わり ……………	24
図 13	ほめられたりしかられたりした経験と生活習慣、道徳観・正義感の関係 ……………	25
図 14	自由時間の過ごし方 ……………	27
図 15	テレビやビデオの視聴時間 (国際比較) ……………	27
図 16	学校から帰宅後の遊ぶ時間 ……………	28
図 17	子ども会やスポーツ少年団などの青少年の団体に加入している ……………	28
図 18 - 1	小さい子どもを背負ったり遊んだりしてあげたりしたこと ……………	28
図 18 - 2	弱いものいじめやケンカをやめさせたり注意したこと ……………	28
図 18 - 3	友達が悪いことをしていたらやめさせること ……………	28
図 19	おじいさんやおばあさんと一緒に住んでいる ……………	29
図 20	兄弟や姉妹の人数 ……………	29
図 21 - 1	1週間の運動時間 (男子) ……………	31
図 21 - 2	1週間の運動時間 (女子) ……………	31
図 22	学校から帰ってどこで遊ぶか ……………	31
図 23	昭和 60 年と平成 15 年の体力・運動能力の比較 ……………	32
図 24	自然体験を経験した割合 ……………	34
図 25	夏休みにおける自然体験活動への参加割合 ……………	35
図 26	自然体験と道徳観・正義感 ……………	35
図 27	自然に触れる体験をしたとき勉強に対してやる気になるか ……………	35
図 28	インターネット利用率 ……………	37
図 29	携帯電話 (PHSを含む) の所持率 ……………	37
図 30	コミュニケーション手法 ……………	37
図 31	相談したい場合の友だちへの相談方法 ……………	37
図 32	サイバー犯罪のうち青少年保護育成条例違反等の検挙件数 ……………	37
図 33	未成年者を当事者とする消費生活相談件数 ……………	38
図 34 - 1	メディア接触についての家庭内ルール「特にもうけていない」割合 (パソコンのインターネットについて) ……………	39
図 34 - 2	メディア接触についての家庭内ルール「特に設けていない」割合 (携帯電話について) ……………	39
図 34 - 3	パソコンでインターネットを利用するときの親の対応 ……………	39